

観光庁説明資料

平成29年5月10日

国土交通省観光庁

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック後も見据え、2030年には訪日外国人旅行者数6000万人、その旅行消費額15兆円などの目標を掲げ、**政府を挙げて「観光先進国」の実現を図る我が国にとって、今後整備するIRは、そうした取組を強力に後押しするもの**であることが必要。
- したがって、我が国で整備されるIRは、**これまで実現できなかった日本の新たな観光の魅力**となるよう、アジア最大級のMICE施設とリーズナブルに利用できる上質なエンターテイメント施設が融合した、**ビジネスで訪れてもファミリーで訪れても満足できる**ような施設であるべき。
- あわせて、国際競争力の高い魅力ある**滞在型観光地の形成の中核**となり、また、伝統・文化といった**日本の魅力を広く世界に発信し、全国へ旅行者を送り出す**機能を有する、他国にない「日本型IR」として整備すべき。

「日本型IR」の基本コンセプト

- ① IRを世界最高水準のMICEデスティネーションに
- ② IRを世界最高水準の滞在型リゾートに
- ③ IRを魅力あふれる全国各地への周遊の拠点に

① IRを世界最高水準のMICEデステーションに

国際会議開催件数のアジアNo.1の地位を維持し、低下傾向にあるシェア（2015年で約26%）を回復させるには、ハード・ソフト両面においてアジア最強のMICE誘致力が必要。大規模MICEの参加者を受け入れる大型宿泊施設は、都市部を中心とした宿泊施設不足（民間の試算では、2020年に約5万室の不足）の解消にも有効。

(1) MICE誘致戦略の中核となる国際会議場・展示場

○ いつでも、どんな会議・イベントでも

大規模な国際会議や世界規模の見本市でも、複数同時に開催可能なアジア最大級の国際会議・展示場施設。レイアウトはフレキシブルに分割・変更が可能で、少人数・多数のグループに分かれての会議や、様々な規模のイベントにもマルチに対応。大規模な国際会議と展示会の同時開催もスムーズ。

○ ビジネスなのに楽しい

多彩なアフターコンベンションやスパウス（=配偶者）プログラム等によって、参加者の満足度の高い、また来たくなるMICEが開催可能。

○ 専門家が強力サポート

MICEの誘致から開催までを専門のプランナーがトータルでコーディネート・支援し、MICEを成功に導く。

○ 地域の個性がMICEの魅力に

地域のユニークベニュー（美術館、博物館、寺社等）との協力によって、「ここでしかできない」MICEを実現。

(2) 我が国最大級の収容力を誇る宿泊施設

○ 日本最大級の客室数

数千人規模の国際会議の開催の際も、宿泊施設の不足の心配は不要。大勢の参加者を受入れられる日本最大級の客室数。

○ ビジネスタイプの客室からコンドミニアムまで

シンプルなビジネスタイプの客室から、ロングステイ向けのコンドミニアムまで、多様な滞在目的に応じた客室を用意。

○ 世界のVIPも満足

国際会議等に参加する世界のVIPや富裕層のニーズにも対応できる随一のラグジュアリーな空間・サービスを用意。



② IRを世界最高水準の滞在型リゾートに

訪日外国人旅行消費額（2015年約3.5兆円）を増加させるには、滞在型観光による消費効果が重要。IRには、国際競争力の高い滞在型観光の中核として、多彩なエンターテインメントや地域とも連携した「その土地ならではの」のアクティビティが必要。家族みんなが楽しめて、何日居ても飽きない、何度でも来たくなる世界最高水準の滞在型リゾートに。

(1) 多彩なエンターテインメントやアクティビティ

○ 日本や世界の一流エンターテインメント

劇場では、能、歌舞伎などの伝統芸能、Jポップ、世界的な演劇やパフォーマンスを毎日公演。臨場感あふれるステージでの一流のエンターテインメントをリーズナブルな価格で体験。

○ 最高の思い出になるアクティビティ

大人も子どもも一日中楽しめ、最高の思い出となる体験型のユニークな動物園・水族館、世界的なテーマパーク、全天候型プールなどを整備。

○ 「その土地ならではの」の体験やグルメ

滞在中は、IR周辺の地元の魅力的なスポットにも気軽にお出かけ。「その土地ならではの」の体験や地元食材を使った郷土料理を堪能。

○ 大人のナイトライフも演出

夫婦で鑑賞する上質なコンサート、夜景や生演奏が楽しめるバー、熱気にあふれるクラブなど、日常を忘れて満喫できる多彩なナイトライフも用意。

(2) すべての人が快適に滞在できるリゾート

○ 家族連れが快適に過ごせる

子どもだけで参加できるアクティビティや、24時間営業の託児所を完備し、家族が思い思いの楽しみ方を満喫できる環境に。

○ 言語・宗教・文化でもバリアフリー

多言語、バリアフリーはもちろん、多様な宗教、文化にも対応し、ムスリムやベジタリアン向けの食事、礼拝施設なども用意。

○ 日本の最先端技術も活用

ロボットや自動運転をはじめとした、日本が世界に誇る最先端技術を積極的に取り入れることで、ゲストに驚きと快適さを。



③ IRを魅力あふれる全国各地への周遊の拠点に

インバウンドは東京、大阪をはじめとしたゴールデンルートに集中している（外国人延べ宿泊者数の約6割は3大都市圏に集中）。全国津々浦々へもその消費効果を波及させるエンジンとして、我が国のさまざまな地域の魅力をアピールし、各地への訪問につなげるゲートウェイ機能を持ったIRに。

(1) 日本の魅力の「ショーケース」

- 外国人が日本のファン、リピーターに

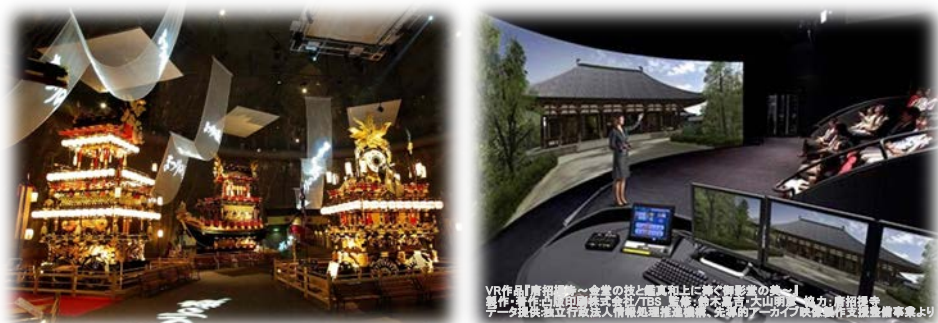
日本ならではの伝統、文化、芸術、四季の自然などを、分かりやすく魅力的に紹介。IRを訪れた外国人が、「また必ず日本に来たい」と感じ、ファン・リピーターになってもらえるような施設を目指す。

- 「まだ見ぬ日本」を訪ねて

IR周辺はもとより全国各地の様々な魅力やまだ知られざる魅力を発掘・紹介し、各地への訪問の需要を掘り起こし、日本人も外国人も、「ここにも是非行ってみたい」と感じるような施設を目指す。

- 最先端技術も活用

展示物、映像、実演などに加え、VRなどの最先端技術も駆使して、臨場感を持って魅力を感じられる仕掛け。



(2) 日本の旅の「ゲートウェイ」

- IRを拠点に広域的な回遊を

IRが立地する地域の広域的な観光の拠点として、地域の観光施設等とも連携して、地域ならではの魅力ある体験やグルメなどの旬な情報を紹介。IRに旅行者を囲い込まず、IRを拠点として地域内の回遊を促進。

- 全国各地への旅の拠点に

全国各地において、地域の特性や創意工夫を生かした観光メニューを提供する関係者と連携して、全国の魅力的な観光地や観光ルートを紹介。IRを拠点にして、旅行者が全国各地に旅立つ。

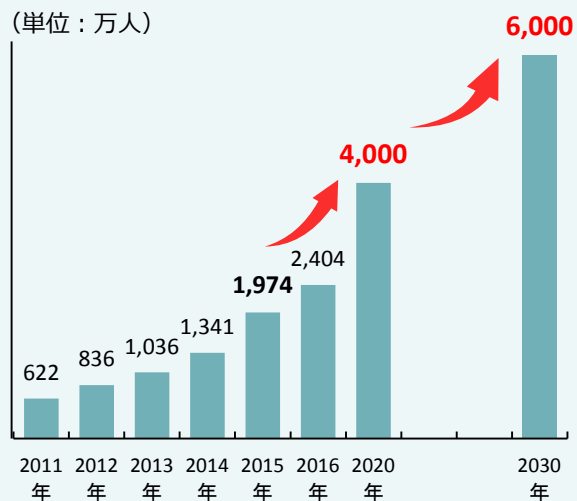
- コンシェルジュが日本の旅をお手伝い

全国の観光地や交通手段等の案内やチケットや宿泊の手配等のコンシェルジュ機能をワンストップで提供。IRが日本の旅のゲートウェイに。

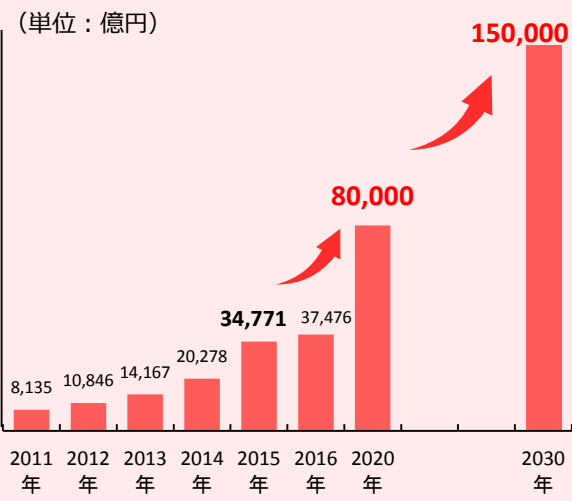


参考 1 観光先進国の実現に向けた政府の目標

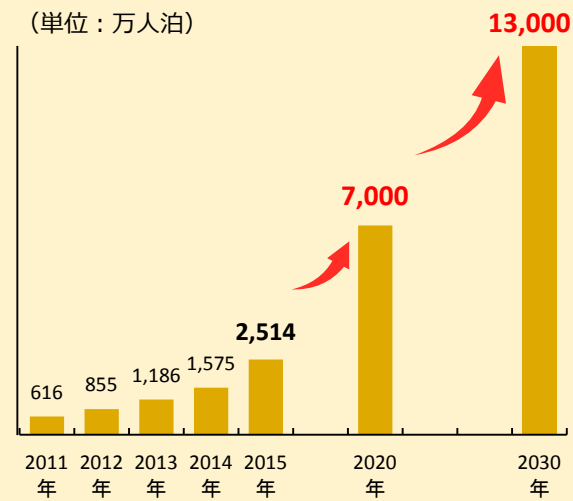
○ 訪日外国人旅行者数



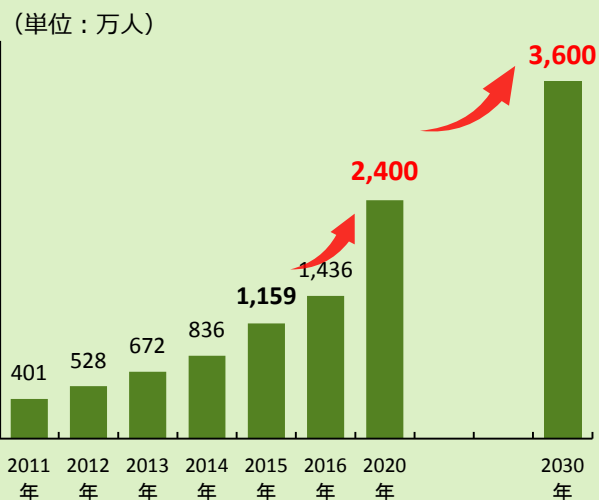
○ 訪日外国人旅行消費額



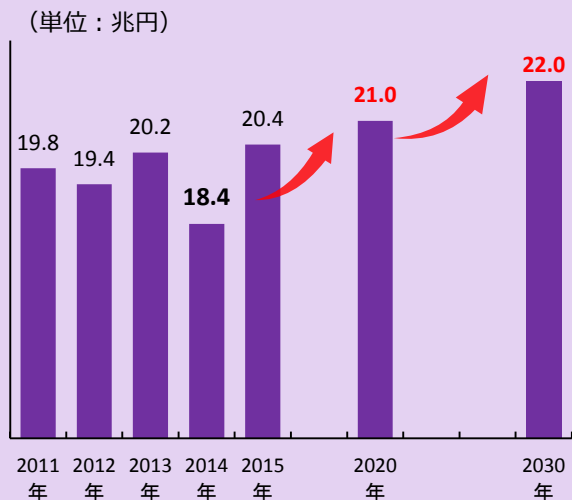
○ 地方部での外国人延べ宿泊者数



○ 外国人リピーター数

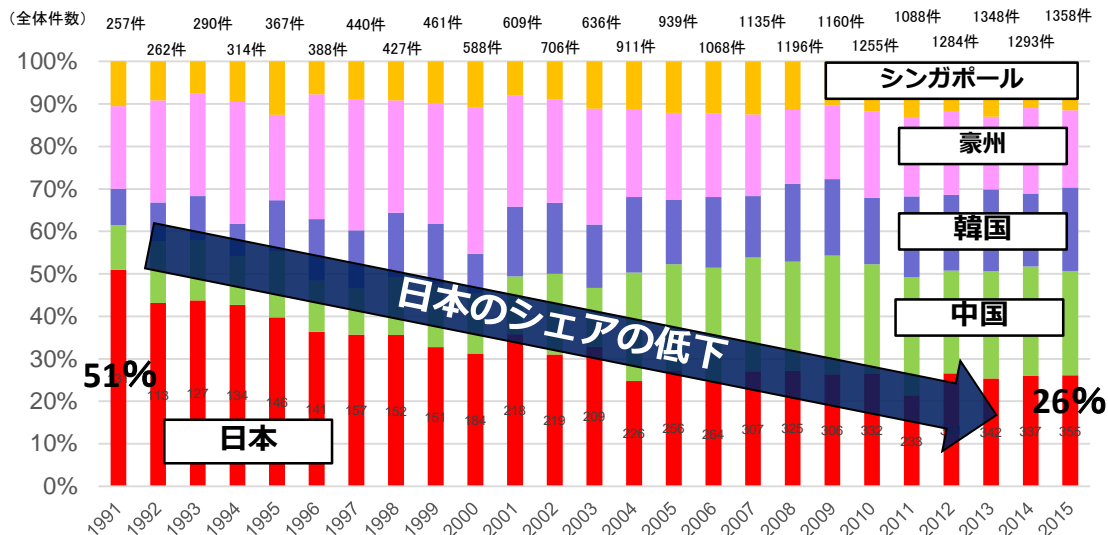


○ 日本人国内旅行消費額



国際会議の開催件数のシェアと国際会議場

アジア・大洋州主要国の国際会議開催件数に対する日本のシェア推移（1991～2015）



※ICCA（国際会議協会）統計より観光庁作成（2017年4月現在）

日本の主な会議場

順位	施設名	最大規模会議場収容人数 (人)	床面積 (㎡)
1	東京国際フォーラム	5,012	-
2	パシフィコ横浜	5,002	4,603
3	シーガイアコンベンションセンター	3,300	2,603
4	名古屋国際会議場	3,012	2,360
5	福岡国際会議場	3,000	2,700
6	大阪国際会議場	2,754	2,234
7	大宮ソニックシティ	2,505	3,282
8	札幌コンベンションセンター	2,500	2,607
9	国立京都国際会館	1,846	2,040
10	長良川国際会議場	1,689	1,911

※各施設HPより観光庁作成

アジア・大洋州の主な会議場

国名	施設名	最大規模会議場収容人数 (人)	床面積 (㎡)
韓国	COEX	7,000	7,281
	KINTEX	1,600	1,600
中国	香港会議展覧中心	8,000	8,098
	上海国際会議中心	3,000	4,400
シンガポール	Marina Bay Sands	8,000	7,672
	Suntec Singapore	12,000	12,000
	Resort World Sentosa	6,500	6,000
	Singapore Expo	8,000	10,043
豪州	Melbourne Exhibition And Convention Centre	5,564	6,376
	Sydney Convention And Exhibition Centre	2,500	-

※各施設HPより観光庁作成

世界のIRと日本の宿泊施設の客室数

日本の客室数の多い主なホテル

都道府県	ホテル名	客室数
東京都	品川プリンスホテル	3,560
千葉県	アバホテル&リゾート<東京ベイ幕張>	2,007
東京都	ホテルニューオータニ	1,479
東京都	京王プラザホテル	1,437
東京都	アワーズイン阪急	1,388
東京都	新宿ワシントンホテル本館	1,279
新潟県	苗場プリンスホテル	1,224
東京都	サンシャインシティプリンスホテル	1,109
福岡県	ヒルトン福岡シーホーク	1,053
東京都	東京ドームホテル	1,006
京都府	新・都ホテル	988
大阪府	リーガロイヤルホテル(大阪)	972
東京都	ホテルグレイスリー新宿	970
大阪府	大阪新阪急ホテル	961

※観光庁調べ

世界の主要なIRに付帯するホテル

都市名	ホテル名	客室数
ラスベガス	ザ・ヴェネチアン&ザ・パラッツォ(注)	7,092
マカオ	サンズ・コタイ・セントラル	6,300
ラスベガス	シティセンター	5,891
ラスベガス	MGMグランド	5,044
ラスベガス	マンダレイベイ	4,752
ラスベガス	ルクソール	4,400
ラスベガス	ベラッジオ	3,933
マカオ	ザ・ヴェネチアン・マカオ	2,900
シンガポール	マリーナ・ベイ・サンズ	2,561
アトランティックシティ	ボルガータ	2,000
シンガポール	リゾート・ワールド・セントーサ(注)	1,600
マカオ	シティ・オブ・ドリームズ	1,400
マカオ	MGMマカオ	579
マカオ	アルティラ・マカオ	230

(注) 同一IR施設内の複数のホテルの客室数の合計
 ※第1回特定複合観光施設区域整備推進会議 参考資料1（諸外国に於けるIRについて）より観光庁作成